

## 大西大通り新設計画 ここが納得出来ません！！

### 1、トンネルの上に道路

住民はここに住めると思ってJR東海と契約した人が多い。市は、その時既に道路計画を知りつつ住民に契約させました！信頼保護の原則を無視したあり得ない行政行為です。

### 2、道路計画に必須の住民意見を全く無視 “寝耳に水”の計画

国のガイドラインに、くり返し記されているのが住民意見の重要性です。  
しかし、私たち西橋本の当事者住民は構想・計画の段階で意見を求められたことも、都市計画審議会の審議委員に選ばれたこともありませんでした。

### 3、現在の車の台数を出していない 現在の道路の活用について検討しない

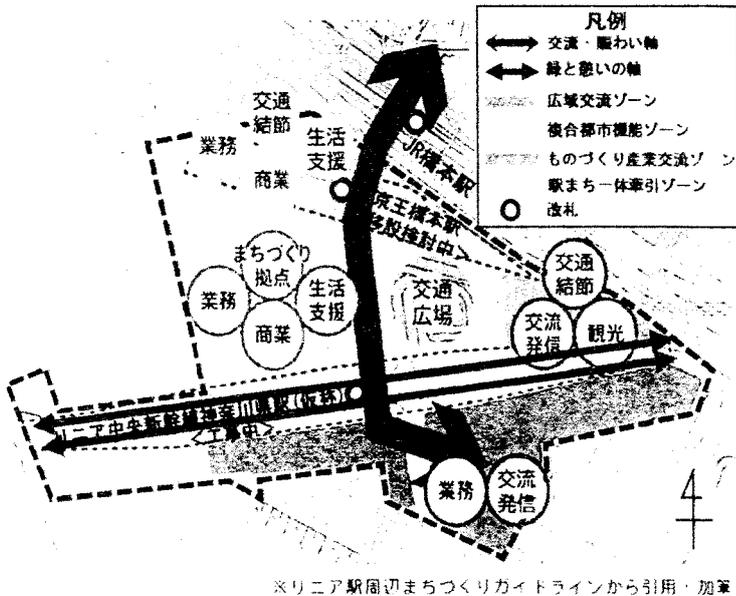
今の通行量のデータを抜きに、なぜ津久井方面から7700台増えると言うことが出来るのでしょうか？ 実態を踏まえない机上の計算式ではありませんか？また皆さんが一番求めている“既存の道路を整備活用したらどうなるか”全く回答がありません。無視しています。

### 4、駅前のまちづくりの計画が定まっていない

肝心のまちづくりで何が出来るのかが曖昧でスケジュールも見えないのに、100軒の家々を立ち退かせる必要性は、到底理解出来ません。

(大西大通り新設に反対する会チラシ2024.12.27号より)

※このほか、今の駅近と同等の代替え地の用意がない、という理由も多い。



※リニア駅周辺まちづくりガイドラインから引用・加筆

(2025.1月住民説明会資料から)

### 今だ漠然としたまちづくり計画

※JR橋本駅南口の区画整理事業は12月事業認可申請済み取得待UR(独立行政法人都市再生機構)が施工

### 目下の課題 (私見ですが)

- 市道認定後、戸別訪問→用地測量→補償調査→契約へと進む家が出るのはやむを得ないが、ステッカーを貼るなどの反対者をどれだけ維持出来るか。
- 市の不当性をどれだけ暴いて追求し、反対の機運の材料に出来るか。

大西大通り・今までの経過

無印・・・市の動き

★・・・住民市民の動き

2014～2016 まちづくり(広域交流拠点整備計画)策定のための「東海他関係者がいる会議で「駅上部には高い建物は計画しない」と伝える

2016 広域交流拠点整備計画策定 駅上は緑、駅前広場、道路のいずれか

2017 既存道路の拡幅で7000万円の予算で測量する

2018 庁内会議で駅上は道路という話が出る

2022.1 庁内会議 大西大通り新設の件

.2 大規模事業評価委員会 橋本駅周辺整備事業に大西大通り 突如追加 (委員も唐突感表明) .2～3 市民意見募集と市民説明会

.5 ★大西大通り説明会(リニア連絡会主催)

.6 初・大西大通り住民説明会

.7 橋本駅周辺整備事業の方針決定 (国費198億・市費330億・大西174億・計538億)

.8 ★住民が議会へ陳情提出 ★7～8月住民有志が署名活動開始、秋にかけて提出

.8 都市計画説明会

.10 公聴会(18人殆どが反対) 測量開始 ★大西大通り新設に反対する会発足

.12 都市計画意見書募集(～1月 373通 大西大通り266通の内、殆どが反対)

2023.2 都市計画審議会答申 付帯意見がつく(住民の理解を得るよう市は最大限の努力を)

.3 都市計画決定 ★質問会 ★緊急集会(リニア連絡会主催)

.7 住民説明会

2024.2 ★初・反対する会住民集会 測量拒否のステッカー作戦開始

.6 ★県庁へ要請

.4 ★第2回市長対話 反対する会857筆の反対署名を直接渡し、撤回を求める

.5 住民説明会

.8 ★質問会 ★「噂の東京マガジン」放映

2025.1 住民説明会

.2 ★質問会

.3 3月議会で市道認定の提案が可決される ★住民が議会へ否決を求める陳情提出

.4 ★質問会 .4 住民説明会(市道認定で制限、戸別訪問開始、事業認可めざす)

2024年(令和6年)12月26日(木) 13版 神 地域総合 18

「リニア新駅生かせ」  
企業誘致・観光振興狙い

相模原市はリニア中央新幹線の神奈川駅(仮称)が設けられる同市緑区の橋本駅周辺のまちづくりや、車両基地周辺への企業誘致や観光振興を進めるため、本村賢太郎市長を本部長とする「リニアまちづくり推進本部」を設けた。

神奈川県を中心に、まちづくりは、「一歩先の未来を叶えるまちづくり」をコンセプトに掲げる。橋本駅はJR横浜線、相模線、京王相模原線の3線が交わり、1日約20万人を超える乗降客が利用する。今後は、駅周辺を余白なく整備する。約100軒もあり、反対運動も起きている。(三木一哉)

相模原市は「JRを本部長とする民間企業とも連携し、ワクワクするようなまちづくりを進めたい」と呼びかけた。一方、リニア中央新幹線の開業は2034年以後にずれ込んでおり、新駅をめぐっても周辺道路整備事業で移転を余白なくされる地権者が約100軒もあり、反対運動も起きている。(三木一哉)

令和7年4月に、これまでのリニアまちづくり課を2つの組織に改編しました。今後、連携してまちづくりを進めてまいります。

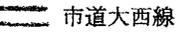
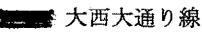
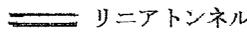
リニアまちづくり課

橋本駅南口の土地区画整理事業など、まちづくり全体の計画を推進します。

リニア拠点整備事務所

大西大通り線をはじめとする道路事業の用地補償に関する取組や、閑乗車両基地(烏屋地区)の整備等に関する調整などを行います。

2025.4月の住民説明会資料から

 市道大西線
  大西大通り線
  リニアトンネル

西橋本5丁目交差点

相模原北署交差点

サンエールさがみはら交差点

橋本駅南口交差点

橋本駅南口駅前通り線  
(地下がリニア駅)

JR/京王橋本駅

西橋本4丁目交差点

橋本変電所前交差点

リニアトンネルとほぼ重なっている

住宅地の真ん中に道路を造る

100軒の住民に代替え地もなく立ち退きを迫る

大西大通り新設計画

長さ 920m 巾 22m 2車線

映の原工業団地交差点

工業団地入口交差点

西橋本1丁目交差点

橋本五差路交差点

250m  
1:5,000

# 住民ら 変化迫られ

リニア中央新幹線の県内唯一の新駅「神奈川県（仮称）」の建設が進む相模原市緑区の橋本駅周辺の住民らが、愛着ある風景の喪失や暮らしの変化に迫られている。21日には新駅設置に伴って移転した県立相原高校のシンボルツリーだったクスノキの伐採作業がスタート。市が周辺で整備を計画する道路では約100棟の立ち退きが想定され、住民らが揺れている。

## リニア新駅の橋本駅周辺

新駅建設地の隣では樹齢約100年のクスノキを伐採するため、作業員数人が添え木を取り外すなどの準備作業に取りかかった。工事を発注した県によると、今週24日まで

本場に、切ってしまうのは残念」と悔やんだ。

伐採を巡っては地元市民団体から反対の声が上がっており、これまでに署名運動や住民監査請求・住民訴訟があった。

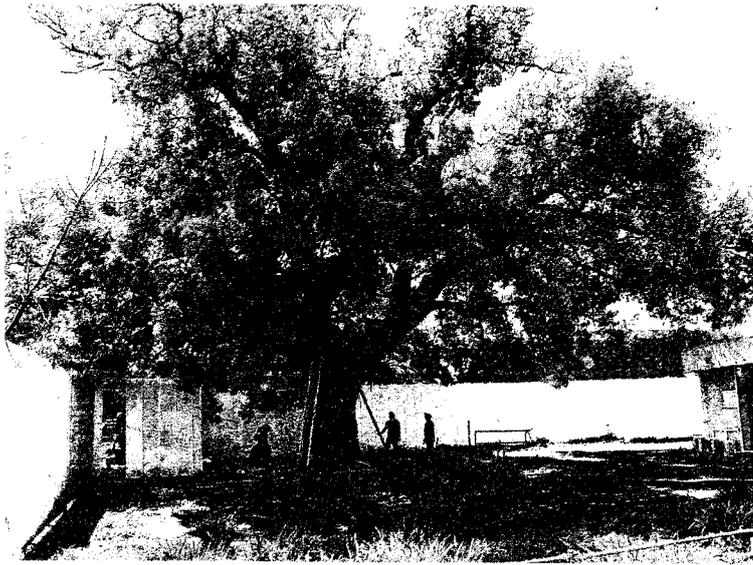
ただ、新駅周辺のまちづくりを計画する市は、開発に伴って合理的な土地利用を図る上で、クスノキの保全と両立するのは困難と判断。クスノキを所有する県とも協議し、樹勢の衰えが目立つことから移植も難しいとの結論に至った。（砂田 弘明）

## 樹齢100年クスノキ伐採

には伐採を終える予定という。

1923（大正12）年の同校開校の頃に植えられたクスノキは高さ約16メートル、幹回りが約5メートルある大木。シンボルとして長年親しまれてきただけに、伐採を迎え、同校卒業生からは惜しむ声が聞かれた。

同区に住む河津八重子さん（73）は伐採作業が始まると聞き、現場に駆け付けた。在学当時は門と校舎の間にあるクスノキの前をいつも通っていたことを懐かしく振り返り、「卒業して50年以上たつので、（クスノキは）今見るとだいぶ成長したように思う。『今日も頑張ってる』と言ってくれているような気がしていた。

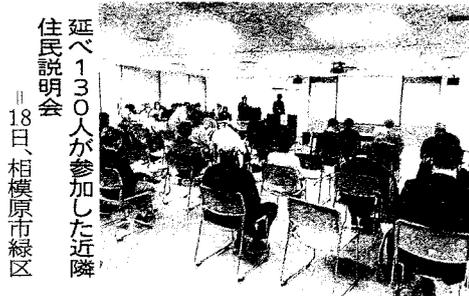


クスノキの伐採の準備作業に取りかかる作業員ら  
=21日、相模原市緑区橋本

## 道路新設で立ち退き 「高齢で行く先ない」

相模原市会 反対の声根強く

相模原市が橋本駅周辺で計画する新設道路「大西大通り線」を巡っては、18、20日に近隣住民説明会が開かれた。市議会の議決を経て同線が市道となつてから初の説明会で、延べ130人が参加。市は住民への説明や相談に応じる体制を強化して臨んだものの、住民らの反発は収まっていない。



延べ130人が参加した近隣住民説明会  
=18日、相模原市緑区

由、補償内容などを説明した。だが、18日の参加者からは「高齢なので行く先（引っ越し先）がない」「市の都合を住民に押し付けているだけ」などと生活の不安や市の事業の進め方への不信の声が上がった。また、現在示している線形に至る検討過程を疑問視する声や、まちづくり全体のより具体的なイメージを求める声もあった。

市は「特に長年ここにお住まいの皆さんに多大な心配、不安をかけていると認識している」とし、新体制の下で戸別訪問して丁寧な説明や意向確認に努めると強調。不動産関係団体と連携して代替地の情報を提供できる仕組みも検討しているとし、まちづくりのイメージについても「どういった形で示せるか検討し、その状況を伝える努力をした」と述べた。（山本 昭子）